

設定情報

本装置をインターネットサービスプロバイダ等のコンピュータネットワーク接続サービス業者経由でインターネットに接続したり、本装置またはその他のルータ装置と接続してイントラネットを構築するためには、最初に設定情報と呼ばれる各種パラメータを本装置に設定します。

設定情報の設定には次の2つの方法があります。

- Webブラウザを使用した設定
- コマンドを使用した設定

いずれの場合も、本装置の使用目的に沿った設定項目を整理してから実際の設定作業を行ってください。Netscape Navigator、Internet ExplorerなどのWebブラウザが動作すれば、設定に使用する端末のOSは問いません。



設定情報を設定するための接続

設定情報を本装置に設定するための端末と本装置の接続には、2つの接続方法があります。

| 設定方法 | 接続方法 |
|---------|---------------------------|
| Webブラウザ | 10BASE-Tポート経由の接続 |
| コマンド | 10BASE-Tポート経由の接続 (telnet) |
| | シリアルポート経由の接続 |

いろいろな利用ケース

この節では、お客様が運用する多くのシステム形態のうち、基本的な例にしたがって設定項目をまとめています。まとめた内容を具体的に設定する方法は、「具体的な設定方法(☛P146)」を参照してください。

次の13ケースについて説明しています。

- 設定A インターネットダイヤルアップ端末型接続
- 設定B ダイヤルアップ対向1対1接続 (WAN Unnumbered)
- 設定C ダイヤルアップ複数相手接続 (WAN Numbered)
- 設定D ダイヤルアップ複数相手同時2箇所接続 (WAN Numbered)
- 設定E インターネット・複数イントラネット同時接続
- 設定F PIAFS/TA接続 (アクセスサーバ)
- 設定G インターネット専用線接続 (OCNエコノミーなど) <NAT on>
- 設定H インターネット専用線接続 (OCNエコノミーなど) <NAT off>
- 設定I 専用線対向接続 (WAN Unnumbered)
- 設定J 専用線対向接続 (WAN Numbered)
- 設定K フレームリレー接続 (WAN Unnumbered、InverseARP使用、スタティックルート)
- 設定L モデム接続

お知らせ

本装置は、初期導入の場合でもWAN回線から設定を行えるように、接続相手を制限しない(全ての相手からの着信を許可する)設定になっています。

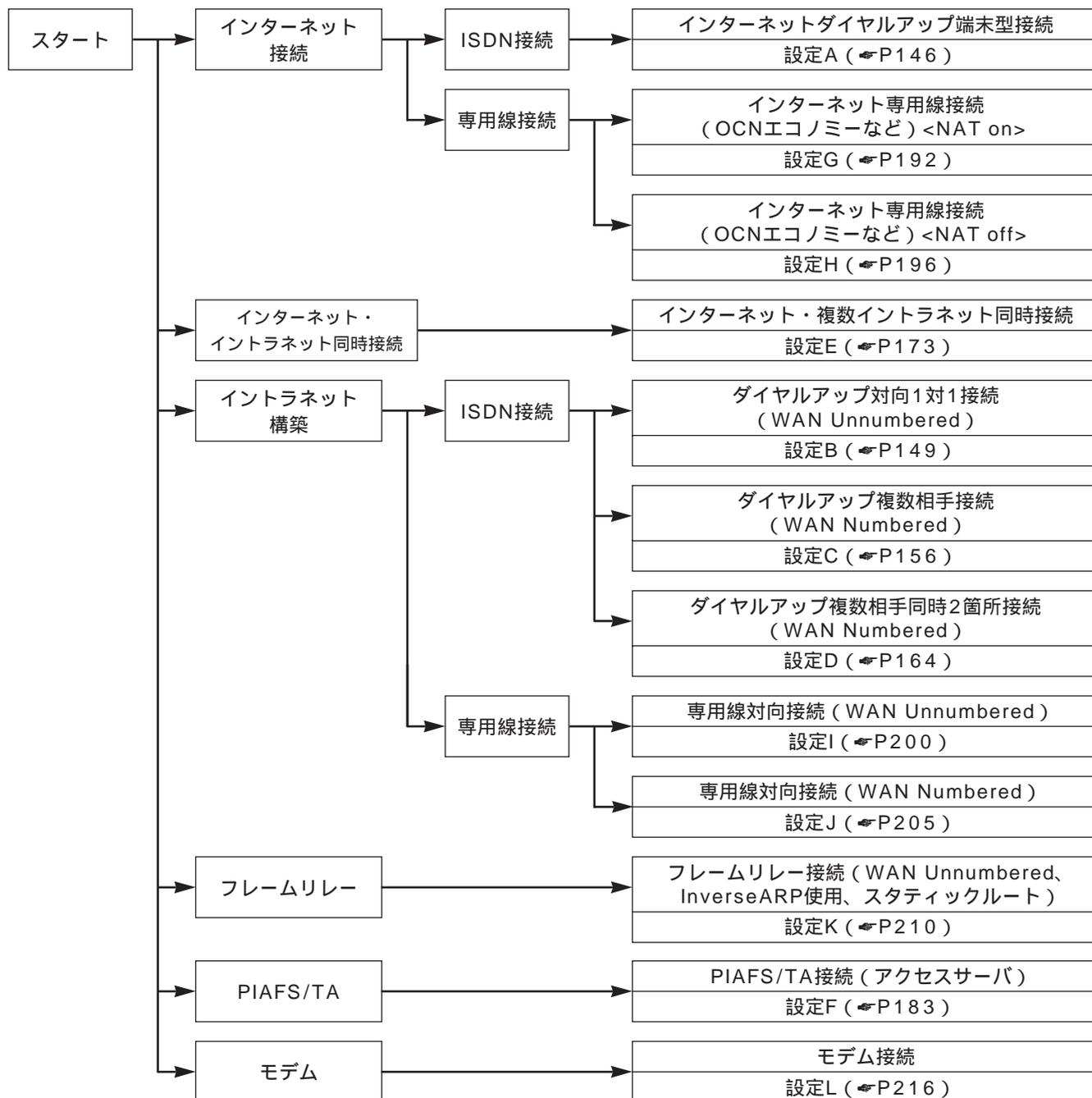
接続相手を制限するには、コマンドより「`isdn dialcheck=on`」(コンフィグレーションモード)と設定します。コマンドの使い方については、P39を参照してください。

Webブラウザを使用して設定する場合は、自動で接続相手を制限する設定になります。

各設定で使用している設定値は一例です。実際に設定する場合は、お客様のネットワーク環境に合わせた値を設定してください。

利用ケースの切り分け

お客様のご使用目的ごとに利用ケースを切り分けています。次のチャートに従ってご確認ください。具体的な設定項目は、P146～220を参照してください。



4
使
ル
タ
機
能
を

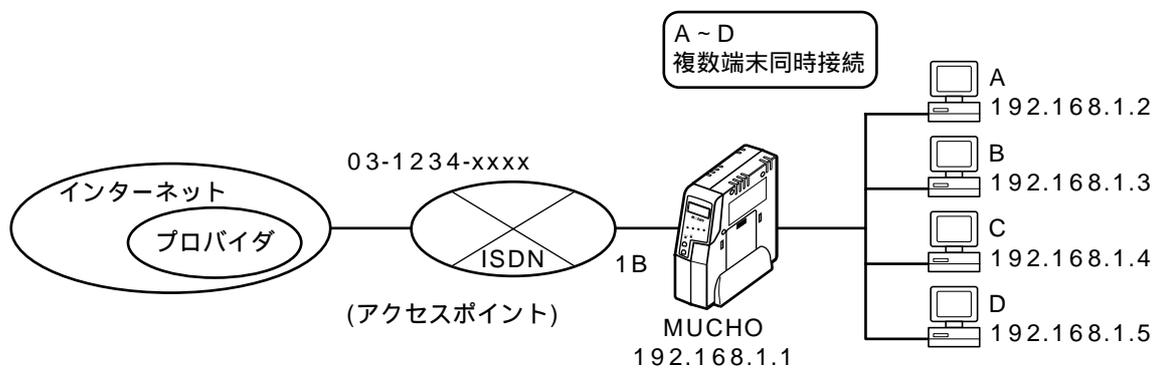
設定A

インターネットダイヤルアップ端末型接続

プロバイダとISDNダイヤルアップ端末型の契約をしているときやOCNダイヤルアクセスサービスを利用するときの設定について説明します。

ここでは、NAT^{*}機能を使い、ダイヤルアップ端末型で複数台の端末を同時にインターネット接続する方法を例にしています。

Webブラウザからの設定では、簡単設定だけで操作が完了します。



設定データの例

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 |
|------|--------------------|-------------|--------------|
| 簡単設定 | ISDNダイヤルアップ接続の登録変更 | アクセスポイント | 03-1234-xxxx |
| | | 認証(接続)ID | marry |
| | | 認証(接続)パスワード | xyz-123 |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [ISDNダイヤルアップ接続] をクリックします。
- 3 ISDN回線の設定をします。

プロバイダにISDN接続するとき使用するアクセスポイント、認証（接続）ID、認証（接続）パスワードを下記のように入力します。

ISDNダイヤルアップ接続の登録変更

アクセスポイント: 031234xxxx

認証（接続）ID: marry

認証（接続）パスワード: xyz-123

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

トラフィックを分散（MP）するときは、「ISDN回線の接続について」を参照してください。（☞P221）

- 4 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット] をクリックします。

[リセット] 画面が表示されます。

- 5 [装置をリセットする] をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。

プロバイダから通知されているDNSアドレスをパソコンに設定してください。または本装置のDHCPサーバ機能で通知するようにしてください。DHCPサーバ機能は、「便利な設定」の「DHCPサーバ機能」で設定してください。（☞P227）

お知らせ

手順1のあとに、ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。

ユーザIDとパスワードを入力してください。（☞P37）

ISDNインターネットダイヤルアップ端末型接続では、DHCP機能がON、NAT+機能がON、接続先がデフォルトルートにあらかじめ設定されています。

< コマンド操作 >

- 1 コンフィグレーションモードに移行します。
(☞P39)

```
#conf
Configuration password:
conf#
```

- 2 認証アカウント、認証パスワードの設定
(hostnameコマンド)

「認証アカウント (marry)」、 「認証パスワード (xyz-123)」を
「hostname」コマンドで入力します。

[add 1] は、設定項目を1エンタリー目へ登録することを意味し
ます。この入力により「PPP認証 (使用する)」も登録されます。

```
conf#hostname add 1 default=marry password=xyz - 123
```

- 3 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定
(targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (dialup-easysetting)」、 「接続相
手のISDN番号 (031234xxxx)」を「target」コマンドで入力
します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

[host=default] は、先に登録した「認証アカウント (marry)」
を「接続相手のターゲット名称 (dialup-easysetting)」と結び
付けます。

```
conf#target add name=dialup-easysetting dial=031234xxxx host=default
```

トラフィック分散する場合は、「接続相手のターゲット名称
(dialup-easysetting)」に [ls] を付加した内容のエンタリーの
入力も必要です。

```
conf#target add name=dialup-easysettingls dial=031234xxxx host=default
```

- 4 NAT⁺機能の設定 (natコマンド)

NAT⁺機能を「使用する」ために「nat natp」を入力します。

```
conf#nat natp if=isdn1
```

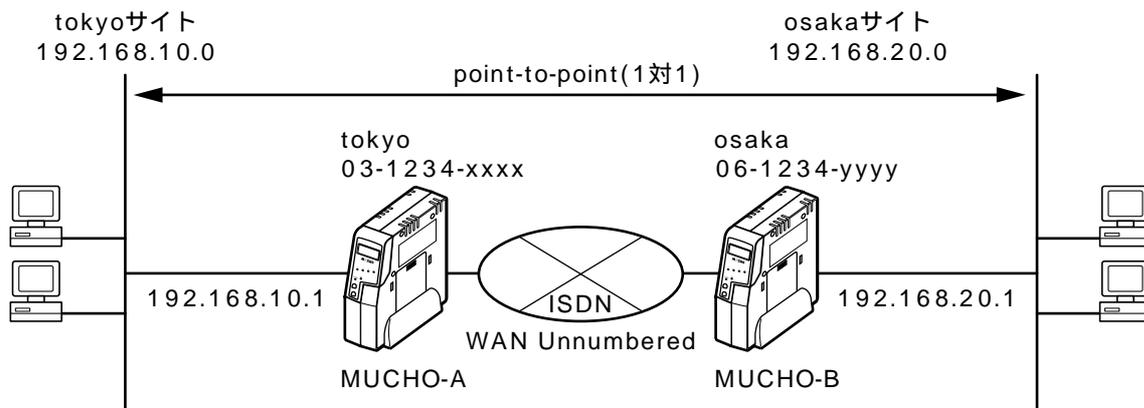
- 5 設定を保存します。(☞P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

設定B

ダイヤルアップ対向1対1接続

2台の本装置をISDN回線を使って1対1 (point-to-point) に接続するときの設定について説明します。2台の本装置の設定が必要になります。ここではMUCHO-Aの設定を例にします。相手認証には、ISDN発信者番号通知を使用しています。



設定データの例

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|--------------|---------------|-----------------------|-------------------|---------------|
| 便利な設定 | ISDN回線の接続について | 現在の形態 | | 同時1箇所接続 |
| | | 接続方法 | | 自動接続 |
| | | 自局電話番号 | | 03-1234-xxxx |
| | | 自局サブアドレス | | なし |
| | | 着信時の発信者番号チェック | | する |
| | | 着信時のPPP認証 | | しない |
| | ISDN回線接続先の登録 | 相手の電話番号 | | 06-1234-yyyy |
| | | 相手のサブアドレス | | なし |
| | | 相手認証用のID | | osaka |
| | | 登録電話番号を桁飛ばして着番号チェックする | | 0 |
| IP RIPスタティック | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.0 | |
| | | サブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.1 | |
| | | メトリック | 2 | |
| | | プリファレンス | 50 | |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | LANインタフェース | インタフェースアドレス | 192.168.10.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | WAN#1インタフェース | インタフェースタイプ | ポイントツーポイント |
| | | | 相手インタフェースアドレス | 192.168.20.1 |
| | | | 相手インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |

4
使う
ルータ
機能を

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [便利な設定] をクリックします。
- 2 [ISDN回線の接続について] をクリックします。
- 3 ISDN回線の設定をします。

[現在の形態: 同時1箇所接続] が表示されているかどうか確認してください。トラフィック分散する場合は、[自動MP接続] をクリックします。接続方法・自局電話番号などを下記のように入力します。

ISDN回線の接続について

現在の形態: 同時1箇所接続

他の形態: 自動MP接続・強制MP接続・同時2箇所接続

接続方法: 手動接続 自動接続

自局電話番号:

自局サブアドレス:

契約番号での着信: する しない

データ圧縮(StackLZH): する しない

TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

着信時の発信者番号チェック: する しない

着信時のPPP認証: する しない

設定が終わったら、[送信] ボタンをクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックします。

- 4 ルータの便利な設定から [ISDN回線接続先の登録] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとに、ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

5 接続先を登録します。

[新規登録] をクリックします。

接続先のISDN電話番号などを下記のように入力します。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

6 ルータの便利な設定から [NAT⁺機能] をクリックします。

7 NAT⁺機能をOFFにします。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

8 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

次ページへ続く

4
使う
ルータ
機能
を

9 ルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

宛先アドレス・宛先サブネットマスクなどを下記のように入力します。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

10 ルータの [詳細設定] をクリックします。

11 [インタフェースの設定] をクリックします。

12 LANインタフェースを設定します。

13 WAN#1を設定します。

[ポイントツーポイント] をクリックし、相手インタフェースアドレス、相手インタフェースサブネットマスクを下記のように入力します。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

14 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

15 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-Bにも同様の設定を行ってください。

<コマンド操作>

1 コンフィグレーションモードに移行します。
(☞P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

2 WAN回線の選択 (wanコマンド)

「WAN回線の選択 (ISDN回線)」を設定するため「wan isdn」を入力します。

この入力により「トラフィック分散 (しない)」も設定されます。トラフィック分散する場合は、「wan lse」と入力します。

```
conf#wan isdn
```

3 接続相手のターゲット名称、ISDN番号、着信認証方法、パスワードの設定 (targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (osaka)」、「接続相手のISDN番号 (061234yyyy)」を「target」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=osaka dial=061234yyyy
```

次ページへ続く

4
ルータ機能を
使う

4 自局のISDN番号、サブアドレスの設定 (isdnコマンド)

「自局のISDN番号 (031234xxxx)」、「自局のサブアドレス (なし)」を「isdn」コマンドで入力します。

[-1] は対象のISDN B1回線の指定を意味します。

[target=osaka] は先に登録した「接続相手のターゲット名称 (osaka)」とB1回線を結び付けます。

```
conf#isdn multimode=on dialcheck=on - 1 dial=031234xxxx  
target=osaka
```

トラフィック分散する場合は、B2回線の設定も行います。

```
conf#isdn - 2 dial=031234xxxx
```

5 LANのIPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「LANのIPアドレス (192.168.10.1)」、「LANのサブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

6 ISDN回線の接続先IPアドレス、ネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

ISDN回線インタフェースの「接続先IPアドレス (192.168.20.1)」、「接続先ネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[isdn1] はISDN B1回線インタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface isdn1 remote=192.168.20.1, 255.255.255.0
```

7 ルート情報の設定 (ipripstatic コマンド)

設定する前にいったんスタティックテーブルの全エントリを削除します。

```
conf# ipripstatic delete all
```

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録 (宛先アドレス : 192.168.20.0、宛先サブネットマスク : 255.255.255.0、Nextthop : 192.168.20.1))」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf# ipripstatic add dst=192.168.20.0, 255.255.255.0  
nextthop=192.168.20.1
```

8 アドレス変換の設定 (nat コマンド)

「アドレス変換設定 (NAT^{+(plus)} 機能)」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf# nat off
```

9 設定を保存します。(←P42)

```
conf# exit  
Configuration modified. save ok? (y/n):y  
please reset#  
Do you want to continue (y/n)?:y
```

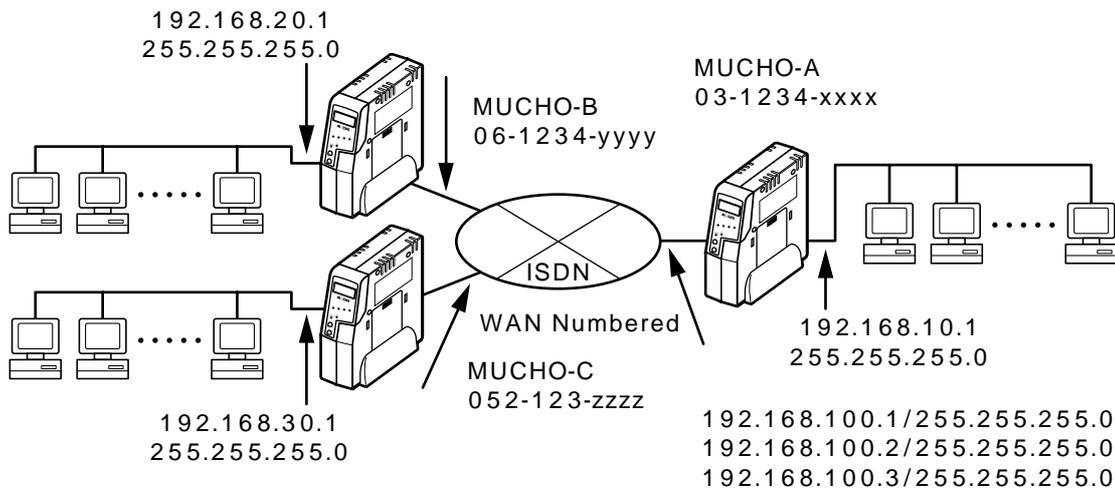
MUCHO-Bも同様の設定を行ってください。

4
使う
ルータ
機能を

設定C

ダイヤルアップ複数相手接続

接続相手を複数登録し、データの宛先により自動的に接続相手を選んで接続する設定について説明します。接続相手は20箇所まで登録することができます。ここではMUCHO-Aの設定を例にしています。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 |
|--------------------------------|-------------------------|--------------------------------|--------------|
| 便利な設定 | ISDN回線の接続について | 現在の形態 | 同時1箇所接続 |
| | | 接続方法 | 自動接続 |
| | | 自局電話番号 | 03-1234-xxxx |
| | | 自局サブアドレス | なし |
| | | 着信時の発信者番号チェック | する |
| | | 着信時のPPP認証 | しない |
| | ISDN回線接続先の登録 (1件目の例) | 相手の電話番号 | 06-1234-yyyy |
| | | 相手のサブアドレス | なし |
| | | 相手認証用のID | osaka |
| | | next gatewayとして接続する時の回線インタフェース | ISDN#1 |
| | | 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | 0 |
| | | ISDN回線接続先の登録 (2件目の例) | 相手の電話番号 |
| 相手のサブアドレス | なし | | |
| 相手認証用のID | nagoya | | |
| next gatewayとして接続する時の回線インタフェース | ISDN#1 | | |
| 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | 0 | | |

次ページへ続く

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|-------|-------------------------|--------------|-----------------|---------------|
| 便利な設定 | IP RIPスタティック (1件目の例) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.2 |
| | | | 接続相手の指定 | osaka |
| | | | メトリック | 2 |
| | IP RIPスタティック (2件目の例) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.30.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.3 |
| | | | 接続相手の指定 | nagoya |
| | | | メトリック | 2 |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | LANインタフェース | インタフェースアドレス | 192.168.10.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | WAN#1インタフェース | インタフェースタイプ | ブロードキャスト |
| | | | インタフェースアドレス | 192.168.100.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [便利な設定] をクリックします。
- 2 [ISDN回線の接続について] をクリックします。
- 3 ISDN回線を設定します。
[現在の形態：同時1箇所接続] が表示されているかどうか確認してください。
トラフィック分散する場合は、[自動MP接続] をクリックします。
接続方法、自局電話番号などを下記のように入力します。

ISDN回線の接続について

現在の形態: 同時1箇所接続
他の形態: 自動MP接続・強制MP接続・同時2箇所接続

接続方法: 手動接続 自動接続

自局電話番号:

自局サブアドレス:

契約番号での着信: する しない

データ圧縮(StackLZH): する しない

TCP/IPヘッダ圧縮: する しない

着信時の発信者番号チェック: する しない

着信時のPPP認証: する しない

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

- 4 ルータの便利な設定から [ISDN回線接続先の登録] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとに、ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。
ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

5 接続先を登録します。

[新規登録] をクリックします。

接続先のISDN電話番号などを下記のように入力します。この例では2件登録しています。2件登録するときは、手順4～5を繰り返してください。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

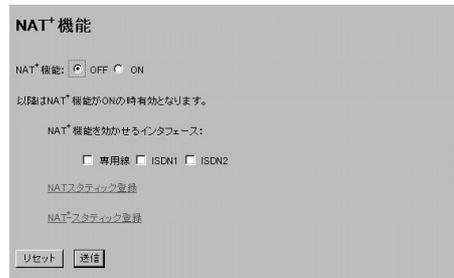
6 ルータの便利な設定から [NAT⁺機能] をクリックします。

次ページへ続く

4
使う
ルータ
機能を

具体的な設定方法

7 NAT⁺機能をOFFにします。



設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

8 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

9 接続相手とルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

宛先アドレス、宛先サブネットマスクとルート情報を下記のように入力します。この例では2件登録しています。



設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

10 ルータの [詳細設定] をクリックします。

11 [インタフェースの設定] をクリックします。

12 LANインタフェースを設定します。

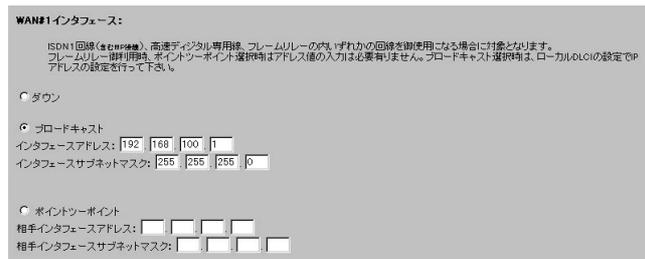


インタフェースの設定

LAN-インタフェース: インタフェースアドレス: 192 168 10 1
インタフェースサブネットマスク: 255 255 255 0

13 WAN#1を設定します。

[ブロードキャスト] をクリックし、IPアドレス、サブネットマスクパターンを下記のように入力します。



WAN#1 インタフェース:

ISDN1回線(モデム回線)、高速デジタル専用線、フレームリレーの各、いずれかの回線を選択使用になる場合に対象となります。フレームリレー選択利用時、ポイントツーポイント選択時はアドレス値の入力は必要ありません。ブロードキャスト選択時は、ローカルDLCIの設定でアドレスの設定を行ってください。

ダウン

ブロードキャスト

インタフェースアドレス: 192 168 100 1
インタフェースサブネットマスク: 255 255 255 0

ポイントツーポイント

相手インタフェースアドレス: [][][][]
相手インタフェースサブネットマスク: [][][][]

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

14 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット] をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

15 [装置をリセットする] をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-B、MUCHO-Cにも同様の設定を行ってください。

4
使う
ルータ
機能を

< コマンド操作 >

- 1 コンフィギュレーションモードに移行します。
(←P39)

```
#conf
Configuration password:
conf#
```

- 2 WAN回線の選択 (wanコマンド)

「WAN回線の選択 (ISDN回線)」を設定するため「wan isdn」を入力します。

```
conf#wan isdn
```

- 3 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定 (targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (osaka、nagoya)」、 「接続相手のISDN番号 (06-1234-yyyy、052-123-zzzz)」を「target」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=osaka dial=061234yyyy
conf#target add name=nagoya dial=052123zzzz
```

- 4 自局のISDN番号、サブアドレス、複数相手接続の設定 (isdnコマンド)

「自局のISDN番号 (031234xxxx)」、 「自局のサブアドレス (なし)」、 「自局の複数相手接続を使用する」を「isdn」コマンドで入力します。

[-1] は対象のISDN B1回線の指定を意味します。

[target=osaka] は先に登録した「接続相手のターゲット名称 (osaka)」とB1回線を結び付けます。

```
conf#isdn multimode=on - 1 dial=031234xxxx target=osaka
```

- 5 LANのIPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「LANのIPアドレス (192.168.10.1)」、 「LANのサブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

6 ISDN回線インタフェースの複数相手接続の設定 (interfaceコマンド)

ISDN回線インタフェースの「複数相手接続を使用する (IPアドレス : 192.168.100.1、ネットマスク : 255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。
[isdn1] はISDN B1回線インタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.1,255.255.255.0
```

7 接続相手の設定 (iptargetコマンド)

「接続相手の設定 (192.168.100.2、192.168.100.3)」を「iptarget」コマンドで入力します。
入力はターゲット名称ごとに行います。
[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf# iptarget add addr=192.168.100.2 name=osaka  
conf# iptarget add addr=192.168.100.3 name=nagoya
```

8 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

設定する前にいったんスタティックテーブルの全エントリを削除します。

```
conf# ipripstatic delete all
```

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録 (宛先アドレス : 192.168.20.0、宛先サブネットマスク : 255.255.255.0、Nextthop :192.168.100.2))」を「ipripstatic」コマンドで入力します。
[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf# ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0  
nextthop=192.168.100.2
```

同様にMUCHO-Cへのスタティックルートも登録します。

```
conf# ipripstatic add dst=192.168.30.0,255.255.255.0 nextthop  
=192.168.100.3
```

9 アドレス変換の設定 (natコマンド)

「アドレス変換設定 (NAT^(plus)機能)」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

10 設定を保存します。(←P42)

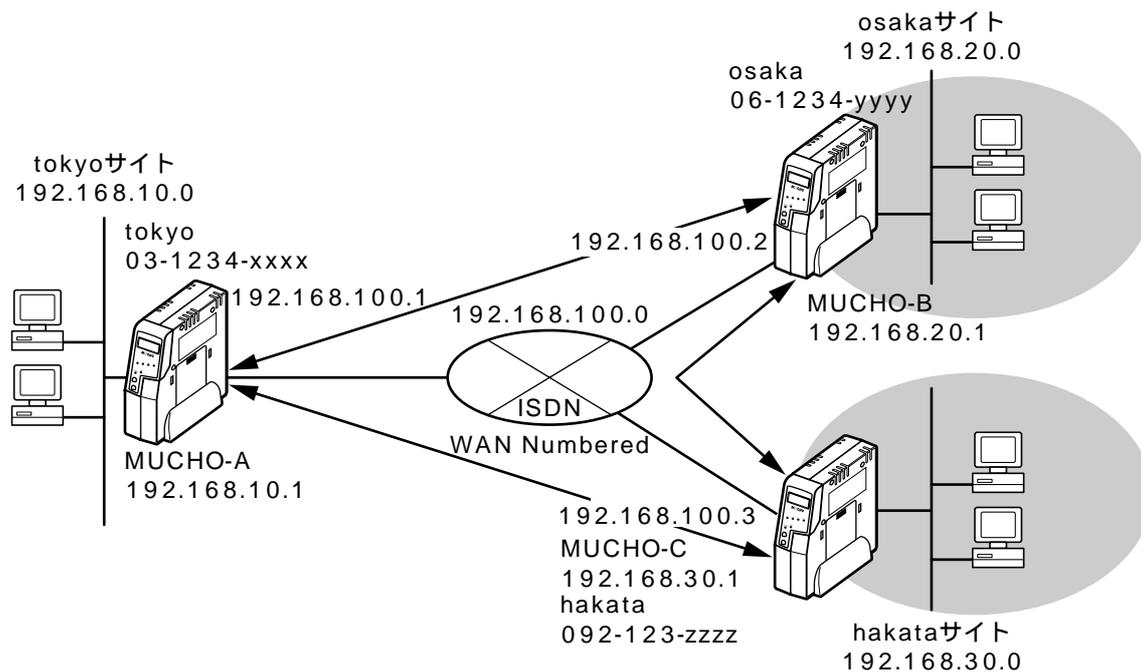
```
conf#exit  
Configuration modified. save ok? (y/n):y  
please reset#  
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-B、MUCHO-Cも同様の設定を行ってください。

設定D

ダイヤルアップ複数相手同時2箇所接続

接続相手を複数登録し、同時に2箇所と接続する設定について説明します。接続相手は20箇所まで登録することができます。ここではMUCHO-Aの設定を例にしています。



設定データの例

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 | |
|-------------------------|-------------------------|------------------------------------|-------------------|---------------|
| 便利な設定 | ISDN回線の接続について | 現在の形態 | 同時2箇所接続 | |
| | | 接続方法 | 自動接続 | |
| | | B1 | 自局電話番号 | 03-1234-xxxx |
| | | | 自局サブアドレス | なし |
| | | B2 | 自局電話番号 | 03-1234-xxxx |
| | | | 自局サブアドレス | なし |
| | | B1、B2共通 | 着信時の発信者番号 チェック | する |
| | 着信時のPPP認証 | | しない | |
| | ISDN回線接続先の登録 (1件目の例) | 相手の電話番号 | 06-1234-yyyy | |
| | | 相手のサブアドレス | なし | |
| | | 相手認証用のID | osaka | |
| | | next gatewayとして接続する時の回線インタ フェース | ISDN#1 | |
| | | 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | 0 | |
| | ISDN回線接続先の登録 (2件目の例) | 相手の電話番号 | 092-123-zzzz | |
| | | 相手のサブアドレス | なし | |
| | | 相手認証用のID | hakata | |
| | | next gatewayとして接続する時の回線インタ フェース | ISDN#1 | |
| | | 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | 0 | |
| | IP RIPスタティック (1件目の例) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| 中継先の指定 | | IPアドレス | 192.168.100.2 | |
| | | 接続相手の指定 | osaka | |
| | | メトリック | 2 | |
| | | プリファレンス | 50 | |
| IP RIPスタティック (2件目の例) | | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.30.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.3 | |
| | | 接続相手の指定 | nagoya | |
| | | メトリック | 2 | |
| | | プリファレンス | 50 | |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | インタフェースアドレス | 192.168.10.1 | |
| | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| | | WAN#1インタフェース | ブロードキャスト | |
| | | インタフェースアドレス | 192.168.100.1 | |
| | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 | |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [便利な設定] をクリックします。
- 2 [ISDN回線の接続について] をクリックします。
- 3 [現在の形態] に [同時2箇所接続] が表示されているかどうか確認してください。表示されていない場合は、[他の形態] の中から [同時2箇所接続] をクリックします。
- 4 ISDN回線を設定します。

B1・B2回線別に、接続方法、自局電話番号などを下記のように入力します。

ISDN回線の接続について

現在の形態: 同時2箇所接続
 他の形態: [同時1箇所接続](#)・[自動MP接続](#)・[強制MP接続](#)

B1:
 接続方法: 手動接続 自動接続
 自局電話番号:
 自局サブアドレス:
 契約番号での着信: する しない
 データ圧縮(StackLZH): する しない
 TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B2:
 接続方法: 手動接続 自動接続
 自局電話番号:
 自局サブアドレス:
 契約番号での着信: する しない
 データ圧縮(StackLZH): する しない
 TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B1、B2共通:
 着信時の発信者番号チェック: する しない
 着信時のPPP認証: する しない

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

5 ルータの便利な設定から [ISDN回線接続先の登録] をクリックします。

6 接続先を登録します。

[新規登録] をクリックします。

接続先のISDN電話番号などを下記のように入力します。この例では2件登録しています。2件登録するときは、手順5～6を繰り返してください。

ISDN回線接続先の登録

この内容を 修正する 削除する

相手の電話番号とサブアドレス
電話番号 サブアドレス
1. 061234yyyy
2.
3.
next_stepnav2として接続する時の回線インタフェース [ISDN1]
ダイヤルアップ接続時の認証データ [1] [2] 番目の内容を使用する
相手認証用のID [osaka] [パスワード]
4. 注：相手認証用のIDは相手毎に異なる内容を設定して下さい。また認証を行わない場合でも、相手を区別できる内容を設定して下さい。

登録電話番号を 前閉して番番号チェックする
接続接続状態の監視: しない する (連続 時間まで接続可能)
PIAFS接続: しない する (62k) する (64k)
コールバック:
 しない
 する (無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される (無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

ISDN回線接続先の登録

この内容を 修正する 削除する

相手の電話番号とサブアドレス
電話番号 サブアドレス
1. 092123zzzz
2.
3.
next_stepnav2として接続する時の回線インタフェース [ISDN1]
ダイヤルアップ接続時の認証データ [1] [2] 番目の内容を使用する
相手認証用のID [osaka] [パスワード]
4. 注：相手認証用のIDは相手毎に異なる内容を設定して下さい。また認証を行わない場合でも、相手を区別できる内容を設定して下さい。

登録電話番号を 前閉して番番号チェックする
接続接続状態の監視: しない する (連続 時間まで接続可能)
PIAFS接続: しない する (62k) する (64k)
コールバック:
 しない
 する (無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される (無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

7 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

次ページへ続く

4
使う
ルータ
機能
を

8 接続相手とルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

宛先アドレス、宛先サブネットマスクとルート情報を下記のように入力します。この例では2件登録しています。

The screenshot shows the 'IP RIP スタティック' (IP RIP Static) configuration window. It contains two entries for static routes. Each entry has fields for destination IP address, destination subnet mask, and metric. The first entry has a destination IP of 192.168.20.0 and a subnet mask of 255.255.255.0. The second entry has a destination IP of 192.168.30.0 and a subnet mask of 255.255.255.0. Both entries have a metric of 2. The interface also includes options for ISDN and interface selection, and a '送信' (Send) button.

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

9 ルータの [詳細設定] をクリックします。

10 [インタフェースの設定] をクリックします。

11 LANインタフェースを設定します。

The screenshot shows the 'インタフェースの設定' (Interface Settings) window. It displays the configuration for the LAN interface, including the interface name 'LAN-インタフェース' and the IP address '192.168.10.1' and subnet mask '255.255.255.0'.

12 WAN#1を設定します。

[ブロードキャスト]をクリックし、インタフェースアドレス、インタフェースサブネットマスクを下記のように入力します。WAN#2は「ダウン」を選択します。

WAN#1 インタフェース:

ISDN1回線(またはPAP接続)、高速デジタル専用線、フレッツリレーの内、いずれかの回線を選択使用になる場合には対象となります。
フレッツリレー利用時は、ポイントツーポイント選択時はアドレス値の入力は必要ありません。ブロードキャスト選択時は、ローカルDLCIの設定でPアドレスの設定を行ってください。

ダウン

ブロードキャスト

インタフェースアドレス: 192 168 100 1

インタフェースサブネットマスク: 255 255 255 0

ポイントツーポイント

相手インタフェースアドレス: [][][][]

相手インタフェースサブネットマスク: [][][][]

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

13 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

14 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-B、MUCHO-Cにもこの設定を行ってください。

< コマンド操作 >

- 1 コンフィグレーションモードに移行します。
(← P39)

```
conf#  
Configuration password:  
conf#
```

- 2 WAN回線の選択 (WANコマンド)

「WAN回線の選択 (ISDN回線)」を設定するため「wan dual」を入力します。

```
conf#wan dual
```

- 3 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定 (targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (osaka、hakata)」、
「接続相手のISDN番号 (061234yyyy、092123zzzz)」を「target」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=osaka dial=061234yyyy  
conf#target add name=hakata dial=092123zzzz
```

- 4 自局のISDN番号、サブアドレス、複数相手接続の設定 (isdnコマンド)

「自局のISDN番号 (031234xxxx)」、
「自局のサブアドレス (なし)」、
「自局の複数相手接続を使用する」を「isdn」コマンドで入力します。

[-1]・[-2] は対象のISDN B1・B2回線の指定を意味します。

```
conf#isdn dialcheck=on multimode=on  
conf#isdn -1 dial=031234xxxx  
conf#isdn -2 dial=031234xxxx
```

- 5 LANのIPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「LANのIPアドレス (192.168.10.1)」、
「LANのサブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

6 ISDN回線インタフェースの設定 (interfaceコマンド)

「複数相手接続を使用する (IPアドレス : 192.168.100.1、ネットマスク : 255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[isdn1] はISDN B1回線インタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.1,255.255.255.0
```

7 接続相手の設定 (iptargetコマンド)

「接続相手の設定 (192.168.100.2、192.168.100.3)」を「iptarget」コマンドで入力します。

入力はターゲット名称ごとに行います。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#iptarget add addr=192.168.100.2 name=osaka
conf#iptarget add addr=192.168.100.3 name=hakata
```

8 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録 (宛先アドレス : 192.168.20.0、宛先サブネットマスク : 255.255.255.0、NextHop : 192.168.100.2))」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0
nextHop=192.168.100.2
```

同様にMUCHO-Cへのスタティックルートも登録します。

```
conf#ipripstatic add dst=192.168.30.0,255.255.255.0
nextHop=192.168.100.3
```

9 アドレス変換の設定 (natコマンド)

「アドレス変換設定 (NAT^{+(plus)}機能)」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

4
使
う
ル
ー
タ
機
能
を

次ページへ続く

10 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-B、MUCHO-Cも同様の設定を行ってください。

MUCHO-Bの設定例

```
conf#wan isdn
conf#target add name=tokyo dial=031234xxxx
conf#target add name=hakata dial=092123zzzz
conf#isdn dialcheck=on multimode=on
conf#isdn -1 dial=061234yyyy
conf#isdn -2 dial=061234yyyy
conf#interface lan addr=192.168.20.1,255.255.255.0
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.2,255.255.255.0
conf#iptarget add addr=192.168.100.1 name=tokyo
conf#iptarget add addr=192.168.100.3 name=hakata
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.1
conf#ipripstatic add dst=192.168.30.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.3
conf#nat off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

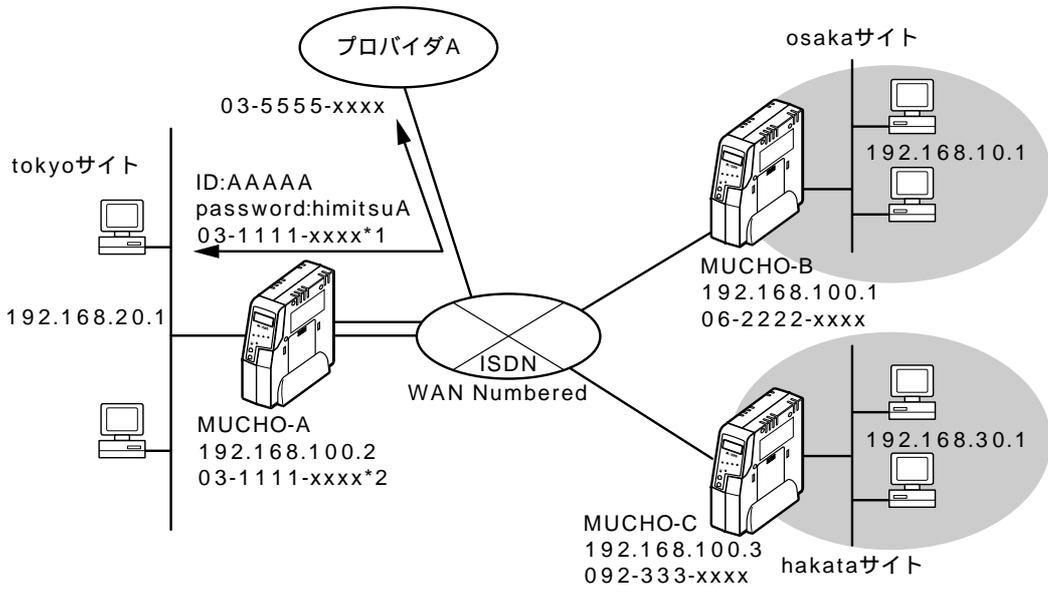
MUCHO-Cの設定例

```
conf#wan isdn
conf#target add name=tokyo dial=031234xxxx
conf#target add name=osaka dial=061234yyyy
conf#isdn dialcheck=on multimode=on
conf#isdn -1 dial=092123zzzz
conf#isdn -2 dial=092123zzzz
conf#interface lan addr=192.168.30.1,255.255.255.0
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.3,255.255.255.0
conf#iptarget add addr=192.168.100.1 name=tokyo
conf#iptarget add addr=192.168.100.2 name=osaka
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.1
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.2
conf#nat off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

設定E

インターネット・複数イントラネット同時接続

2台の本装置をISDNの1チャネルを使ってイントラネットに接続し、残りの1チャネルをプロバイダにダイヤルアップ端末型として接続する設定について説明します。イントラネットでは複数の拠点を結びます。この設定例では、ISDN2Bを別々のインタフェースとしてサブアドレスで分けて使用しています。LAN間接続でもPPP認証を行っており、インターネット接続用のID/Passwordを使用しています。ここではMUCHO-Aの設定を例にしています。



設定データの例

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 | | |
|-------------------------|--------------------|-------------------------|---------------|--------------|--------------|
| 簡単設定 | ISDNダイヤルアップ接続の登録変更 | アクセスポイント | 03-5555-xxxx | | |
| | | 認証(接続)ID | AAAAA | | |
| | | 認証(接続)パスワード | himitsuA | | |
| 便利な設定 | ISDN回線の接続について | 現在の形態 | 同時2箇所接続 | | |
| | | 接続方法 | 自動接続 | | |
| | | B1 | 自局電話番号 | 03-1111-xxxx | |
| | | | 自局サブアドレス | 1 | |
| | | B2 | 自局電話番号 | 03-1111-xxxx | |
| | | | 自局サブアドレス | 2 | |
| | | B1、B2共通 | 着信時の発信者番号チェック | する | |
| | | | 着信時のPPP認証 | する | |
| | | ISDN回線接続先の登録 (1件目の例) | | 相手の電話番号 | 06-2222-xxxx |
| | | | | 相手のサブアドレス | なし |
| 相手認証用のID | osaka | | | | |
| 登録電話番号を桁飛ばして着番号チェックする | 0 | | | | |
| ISDN回線接続先の登録 (2件目の例) | | 相手の電話番号 | 092-333-xxxx | | |
| | | 相手のサブアドレス | なし | | |
| | | 相手認証用のID | hakata | | |
| | | 登録電話番号を桁飛ばして着番号チェックする | 0 | | |

4 ルータ機能を
使う

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|-------|-------------------------|--------------|-------------------|---------------|
| 便利な設定 | IP RIPスタティック (1件目の例) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.10.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.1 |
| | | | 接続相手の指定 | osaka |
| | | | メトリック | 2 |
| | IP RIPスタティック (2件目の例) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.30.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.3 |
| | | | 接続相手の指定 | nagoya |
| | | | メトリック | 2 |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | LANインタフェース | インタフェースアドレス | 192.168.20.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | WAN#1インタフェース | インタフェースタイプ | ポイントツーポイント |
| | | | 相手インタフェースアドレス | 0.0.0.0 |
| | | | 相手インタフェースサブネットマスク | 0.0.0.0 |
| | | WAN#2インタフェース | インタフェースタイプ | ブロードキャスト |
| | | | インタフェースアドレス | 192.168.100.2 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [ISDNダイヤルアップ接続] をクリックします。
- 3 ISDNダイヤルアップ接続の設定をします。
プロバイダにISDN接続するとき使用するアクセスポイント、認証(接続)ID、認証(接続)パスワードを下記のように入力します。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。
ユーザIDとパスワードを入力してください。
(☞P37)

ISDNダイヤルアップ接続の登録変更

アクセスポイント: 035555xxxx

認証(接続)ID: AAAAA

認証(接続)パスワード: himitsuA

4 ルータの [便利な設定] をクリックします。

5 [ISDN回線の接続について] をクリックします。

6 [現在の形態] に [同時2箇所接続] が表示されているかどうか確認してください。表示されていない場合は、[他の形態] の中から [同時2箇所接続] をクリックしてください。

7 ISDN回線を設定します。

B1・B2回線別に、接続方法・自局電話番号などを下記のように入力します。

The screenshot shows the 'ISDN回線の接続について' (About ISDN Line Connection) configuration page. It is divided into two main sections for B1 and B2 lines, and a common section for both.

ISDN回線の接続について

現在の形態: 同時2箇所接続
他の形態: 同時1箇所接続・自動MP接続・強制MP接続

B1:
接続方法: 手動接続 自動接続
自局電話番号: 031111xxxx
自局サブアドレス: 1
契約番号での着信: する しない
データ圧縮(StackLZH): する しない
TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B2:
接続方法: 手動接続 自動接続
自局電話番号: 031111xxxx
自局サブアドレス: 2
契約番号での着信: する しない
データ圧縮(StackLZH): する しない
TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B1、B2共通:
着信時の発信者番号チェック: する しない
着信時のPPP認証: する しない

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

8 ルータの便利な設定から [ISDN回線接続先の登録] をクリックします。

9 接続先を登録します。

[新規登録] をクリックします。接続先のISDN電話番号などを下記のように入力します。この例では2件登録しています。2件登録するときは、手順8～9を繰り返してください。

ISDN回線接続先の登録

相手の電話番号とサブアドレス
電話番号 サブアドレス

1. 062222xxxx

2.

3.

isdn_rateplanとして接続する時の回線インタフェース [ISDN1]
ダイヤルアップ接続時の認証データは [] 番目の内容を使用する

相手認証用のID: osaka パスワード:

新規 注: 相手認証用のIDは相手毎に変更する必要があります。また認証を行わない場合でも番号を区別できる内容を設定してください。

登録電話番号は0 桁間ばして番号チェックする

連続接続状態の監視: しない する(連続) 時間まで接続可能

PIAFS接続: しない する(32k) する(64k)

コールバック:
 しない
 する(無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される(無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

ISDN回線接続先の登録

相手の電話番号とサブアドレス
電話番号 サブアドレス

1. 092333xxxx

2.

3.

isdn_rateplanとして接続する時の回線インタフェース [ISDN1]
ダイヤルアップ接続時の認証データは [] 番目の内容を使用する

相手認証用のID: nakata パスワード:

新規 注: 相手認証用のIDは相手毎に変更する必要があります。また認証を行わない場合でも番号を区別できる内容を設定してください。

登録電話番号は0 桁間ばして番号チェックする

連続接続状態の監視: しない する(連続) 時間まで接続可能

PIAFS接続: しない する(32k) する(64k)

コールバック:
 しない
 する(無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される(無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

10 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

11 接続相手とルート情報を設定します。

宛先アドレス・宛先サブネットマスクとルート情報を下記のように入力します。この例では2件登録しています。

IP RIP スタティック

| | |
|---|---------------|
| 通信先の指定 | |
| IPアドレス | サブネットマスク |
| 192 168 10 0 | 255 255 255 0 |
| 中継先の指定 | |
| 新規 | |
| <input checked="" type="radio"/> IPアドレス 192 168 100 1 | |
| <small>回線がISDN等のダイヤル回線時は登録相手先をその回線種で指定して下さい。osaka</small> | |
| <input type="radio"/> ISDN接続先指定 | |
| <input type="radio"/> インタフェースの指定 LAN | |
| メトリック: 2 プリファレンス: 60 | |

IP RIP スタティック

| | |
|--|---------------|
| 通信先の指定 | |
| IPアドレス | サブネットマスク |
| 192 168 30 0 | 255 255 255 0 |
| 中継先の指定 | |
| 新規 | |
| <input checked="" type="radio"/> IPアドレス 192 168 100 3 | |
| <small>回線がISDN等のダイヤル回線時は登録相手先をその回線種で指定して下さい。hakata</small> | |
| <input type="radio"/> ISDN接続先指定 | |
| <input type="radio"/> インタフェースの指定 LAN | |
| メトリック: 2 プリファレンス: 60 | |

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

4
使う
ルータ
機能を

12 ルータの [詳細設定] をクリックします。

13 [インタフェースの設定] をクリックします。

次ページへ続く

お知らせ

ISDNインターネットダイヤルアップ端末型接続では、DHCP機能がON、NAT+機能がON（ISDN # 1のみ）、接続先がデフォルトルートにあらかじめ設定されています。

14 LANインタフェースを設定します。

インタフェースの設定

LANインタフェース: インタフェースアドレス:
 インタフェースサブネットマスク:

15 WAN#1・WAN#2を設定します。

[ポイントツーポイント]をクリックし、IPアドレス、サブネットマスクパターンを下記のように入力します。

WAN#1 インタフェース:

ISDN1回線(モデム)は、高速デジタル専用線、フレームリレーの内、いずれかの回線を利用する場合にのみ必要となります。
 フレームリレー利用時、ポイントツーポイント選択時はアドレス値の入力は必要ありません。ブロードキャスト選択時は、ローカルDLCIの設定でIPアドレスの設定を行ってください。

ダウン

ブロードキャスト
 インタフェースアドレス:
 インタフェースサブネットマスク:

ポイントツーポイント
 相手インタフェースアドレス:
 相手インタフェースサブネットマスク:

WAN#2 インタフェース:

ISDNを2回線を利用する場合の2回線目のインタフェースとして設定します。

ダウン

ブロードキャスト
 インタフェースアドレス:
 インタフェースサブネットマスク:

ポイントツーポイント
 相手インタフェースアドレス:
 相手インタフェースサブネットマスク:

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

16 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

17 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-Bにも同様の設定を行ってください。

< コマンド操作 >

1 | コンフィグレーションモードに移行します。 (←P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

2 | WAN回線の選択 (WANコマンド)

「WAN回線の選択 (ISDN回線)」を設定するため「wan dual isdn」を入力します。

```
conf#wan dual isdn
```

3 | 認証アカウント、認証パスワードの設定 (hostnameコマンド)

「認証アカウント (AAAAA)」、「認証パスワード (himitsuA)」を「hostname」コマンドで入力します。

[add 1] は、設定項目を1エントリー目へ登録することを意味します。

この入力により「PPP認証 (使用する)」も登録されます。

```
conf#hostname add 1 default=AAAAA password=himitsuA
```

4 | 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定 (targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (providerA、osaka、hakata)」、「接続相手のISDN番号 (035555xxxx、062222xxxx、092333xxxx)」を「target」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=providerA dial=035555xxxx host=default  
conf#target add name=osaka dial=062222xxxx  
conf#target add name=hakata dial=092333xxxx
```

次ページへ続く

4
ルータ機能
を使う

5 自局のISDN番号、サブアドレス、複数相手接続の設定 (isdnコマンド・iptargetコマンド)

「自局のISDN番号(031111xxxx)」、「自局のサブアドレス(1)」、「自局の複数相手接続を使用する」を「 isdn 」コマンドで入力します。

[rcvcheck=on] は着信時にPPP認証を行うことを意味します。

[-1]・[-2] は対象のISDN B1・B2回線の指定を意味します。

[target=providerA] は先に登録した「接続相手のターゲット名称 (providerA)」とB1回線を結び付けます。

```
conf#isdn dialcheck=0 multimode=on rcvcheck=on
conf#isdn -1 dial=031111xxxx * 1 target=providerA
conf#isdn -2 dial=031111xxxx * 2
conf#iptarget add addr=192.168.100.1 name=osaka
conf#iptarget add addr=192.168.100.3 name=hakata
```

6 LANのIPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「LANのIPアドレス (192.168.20.1)」、「LANのサブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「 interface 」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.20.1,255.255.255.0
```

7 ISDN回線のIPアドレス、接続先のIPアドレスの設定 (interfaceコマンド)

「ISDN B1回線インタフェースのIPアドレス (0.0.0.0)」、「接続先のIPアドレス (0.0.0.0)」を「 interface 」コマンドで入力します。 [isdn1] はISDN B1回線インタフェースを意味します。

```
conf#interface isdn1 addr=0.0.0.0 remote=0.0.0.0
```

8 ISDN回線インタフェースの設定 (interfaceコマンド)

「複数相手接続を使用する (IPアドレス : 192.168.100.2、ネットマスク : 255.255.255.0)」を「 interface 」コマンドで入力します。

[isdn2] はISDN B2回線インタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface isdn2 addr=192.168.100.2,255.255.255.0
```

9 ルート情報の設定 (ipripstatic コマンド)

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録 (宛先アドレス : 192.168.10.0、宛先サブネットマスク : 255.255.255.0、NextHop=192.168.100.1))」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.1
```

同様にMUCHO-Cへのスタティックルートも登録します。

```
conf#ipripstatic add dst=192.168.30.0, 255.255.255.0 nexthop=192.168.100.3
```

10 アドレス変換の設定 (nat コマンド)

「アドレス変換設定 (NAT⁺ (plus) 機能)」を「使用する」ために「nat natp」を入力します。

```
conf#nat natp if =isdn 1
```

11 DHCP機能の設定 (dhcpserver コマンド)

「DHCP機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

12 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-Bも同様の設定を行ってください。

4
使う
ルータ
機能を

MUCHO-Bの設定例

```
conf#wan isdn
conf#target add name=tokyo dial=031111xxxx *2
conf#target add name=hakata dial=092333xxxx
conf#isdn dialcheck=0 multimode=on
conf#isdn -1 dial=062222xxxx
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.1,255.255.255.0
conf#iptarget add addr=192.168.100.2 name=tokyo
conf#iptarget add addr=192.168.100.3 name=hakata
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.2
conf#ipripstatic add dst=192.168.30.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.3
conf#nat off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

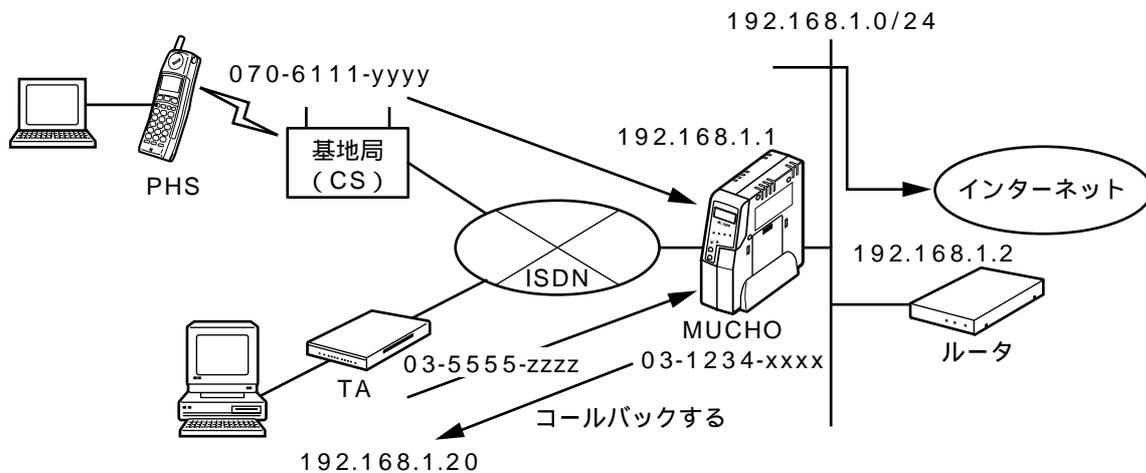
MUCHO-Cの設定例

```
conf#wan isdn
conf#target add name=tokyo dial=031111xxxx *2
conf#target add name=osaka dial=062222xxxx
conf#isdn dialcheck=0 multimode=on
conf#isdn -1 dial=092333xxxx
conf#interface lan addr=192.168.30.1,255.255.255.0
conf#interface isdn1 addr=192.168.100.3,255.255.255.0
conf#iptarget add addr=192.168.100.1 name=osaka
conf#iptarget add addr=192.168.100.2 name=tokyo
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.1
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.2
conf#nat off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

設定F

PIAFS/TA接続 (アクセスサーバ)

本装置をアクセスサーバとして使用し、遠隔地のTA端末と接続する例について説明します。この例では、1つのTAには本装置からコールバックするようにしています。PHSやTAを20件まで登録することができ、同時に2箇所と接続することができます。本装置のLAN側にある他のルータからインターネットへのアクセスも可能です。



設定データの例

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 | |
|--------------------------------|-------------------------|-----------|---------------|--------------|
| 便利な設定 | ISDN回線の接続について | 現在の形態 | 同時2箇所接続 | |
| | | 接続方法 | 自動接続 | |
| | | B1 | 自局電話番号 | 03-1234-xxxx |
| | | | 自局サブアドレス | なし |
| | | B2 | 自局電話番号 | 03-1234-xxxx |
| | | | 自局サブアドレス | なし |
| | | B1、B2共通 | 着信時の発信者番号チェック | する |
| | 着信時のPPP認証 | | する | |
| | ISDN回線接続先の登録 (1件目の例) | 相手の電話番号 | 070-6111-yyyy | |
| | | 相手のサブアドレス | なし | |
| 相手認証用のID | | PHS | | |
| 相手認証用のパスワード | | phs | | |
| next gatewayとして接続する時の回線インタフェース | | ISDN#1 | | |
| 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | | 0 | | |
| PIAFS接続 | | する | | |
| コールバック | しない | | | |

次ページへ続く

4
使う
ルータ機能
を

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|--------|-------------------------|--------------------------------|-------------------|-----------------|
| 便利な設定 | ISDN回線接続先の登録 (2件目の例) | 相手の電話番号 | | 03-5555-zzzz |
| | | 相手のサブアドレス | | なし |
| | | 相手認証用のID | | TA |
| | | 相手認証用のパスワード | | ta |
| | | next gatewayとして接続する時の回線インタフェース | | ISDN#1 |
| | | 登録電話番号を 桁飛ばして着番号チェックする | | 0 |
| | | PIAFS接続 | | しない |
| | | コールバック | | する (登録している所へする) |
| | IP RIPスタティック | 通信先の指定 | IPアドレス | 0.0.0.0 |
| | | | サブネットマスク | 0.0.0.0 |
| 中継先の指定 | | IPアドレス | 192.168.1.2 | |
| | | メトリック | 2 | |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | LANインタフェース | インタフェースアドレス | 192.168.1.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | | WAN#1インタフェース | ポイントツーポイント |
| | | | 相手インタフェースアドレス | 192.168.1.10 |
| | | | 相手インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.255 |
| | | | WAN#2インタフェース | ポイントツーポイント |
| | | | 相手インタフェースアドレス | 192.168.1.20 |
| | | | 相手インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.255 |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [便利な設定] をクリックします。
- 2 [ISDN回線の接続について] をクリックします。
- 3 [現在の形態] に [同時2箇所接続] が表示されているかどうか確認してください。表示されていない場合は、[他の形態] の中から [同時2箇所接続] をクリックしてください。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。
ユーザIDとパスワードを入力してください。
(☞P37)

4 ISDN回線を設定します。

B1回線に、接続方法・自局電話番号などを下記のように入力します。

ISDN回線の接続について

現在の形態: 同時2箇所接続
他の形態: 同時1箇所接続・自動MP接続・強制MP接続

B1:
接続方法: 手動接続 自動接続
自局電話番号:
自局サブアドレス:
契約番号での着信: する しない
データ圧縮(StackLZH): する しない
TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B2:
接続方法: 手動接続 自動接続
自局電話番号:
自局サブアドレス:
契約番号での着信: する しない
データ圧縮(StackLZH): する しない
TCP/IPヘッダー圧縮: する しない

B1、B2共通:
着信時の発信者番号チェック: する しない
着信時のPPP認証: する しない

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

5 ルータの便利な設定から [ISDN回線接続先の設定] をクリックします。

次ページへ続く

6 接続先を登録します。

[新規登録] をクリックします。

接続先のISDN電話番号などを下記のように入力します。この例では2件登録しています。2件登録するときは、手順5～6を繰り返してください。

ISDN回線接続先の登録

この内容を 修正する 削除する

相手の電話番号とサブアドレス
 電話番号 サブアドレス
 1. 0706111yyyy
 2.
 3.
 next_stepnumとして接続する時の回線インタフェース [ISDN1]
 ダイヤルアップ接続時の認証ユーザは [1] 番目の内容を使用する
 相手認証用のID [PHS] パスワード [phs]
 4. 注: 相手認証用のIDは相手毎に異なる内容を設定して下さい。また認証を行わない場合は相手毎に異なる内容を設定して下さい。

登録電話番号を 折り返して着番号チェックする
 連続接続状態の監視: しない する (連続 時間まで接続可能)
 PIAPS接続: しない する (32k) する (64k)
 コールバック:
 しない
 する (無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される (無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

ISDN回線接続先の登録

この内容を 修正する 削除する

相手の電話番号とサブアドレス
 電話番号 サブアドレス
 1. 036566zzzz
 2.
 3.
 next_stepnumとして接続する時の回線インタフェース [ISDN2]
 ダイヤルアップ接続時の認証ユーザは [1] 番目の内容を使用する
 相手認証用のID [TA] パスワード [ta]
 4. 注: 相手認証用のIDは相手毎に異なる内容を設定して下さい。また認証を行わない場合は相手毎に異なる内容を設定して下さい。

登録電話番号を 折り返して着番号チェックする
 連続接続状態の監視: しない する (連続 時間まで接続可能)
 PIAPS接続: しない する (32k) する (64k)
 コールバック:
 しない
 する (無課金) 通知された所へする 登録している所へする
 される (無課金) 通知した所へされる 登録されている所へされる

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

7 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

8 接続相手とルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

IPアドレス、サブネットマスクとルート情報を下記のように入力します。

IP RIP スタティック

この内容を 修正する 削除する

通信先の指定

IPアドレス: 0 0 0 0 サブネットマスク: 0 0 0 0

中継先の指定

IPアドレス: 192 168 1 2

目標がBND等のダイヤル接続時は登録済みの接続先をその接続先で指定して下さい。

ISDN接続先指定

インタフェースの指定: LAN

メトリック: 2 プリファレンス: 50

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

9 ルータの [詳細設定] をクリックします。

10 [インタフェースの設定] をクリックします。

11 LANインタフェースを設定します。

インタフェースの設定

LANインタフェース: インタフェースアドレス: 192 168 1 1

インタフェースサブネットマスク: 255 255 255 0

次ページへ続く

12 WAN#1、WAN#2を設定します。

[ポイントツーポイント] をクリックし、相手インタフェースアドレス、相手インタフェースサブネットマスクを下記のように入力します。

WAN#1 インタフェース:

ISDN1回線 (event8)、高速デジタル専用線、フレームリレーのいずれかの回線を使用になる場合に対応となります。
フレームリレー専用回線、ポイントツーポイント選択時はアドレス種の入力は必要ありません。ブロードキャスト選択時は、ローカルO/Dの設定やIPアドレスの設定を行ってください。

ダウン

ブロードキャスト

インタフェースアドレス: [][][][]

インタフェースサブネットマスク: [][][][]

ポイントツーポイント

相手インタフェースアドレス: [192] [168] [1] [10]

相手インタフェースサブネットマスク: [255] [255] [255] [0]

WAN#2 インタフェース:

ISDNを2回線を使用になる場合の2回線目のインターフェースとして設定します。

ダウン

ブロードキャスト

インタフェースアドレス: [][][][]

インタフェースサブネットマスク: [][][][]

ポイントツーポイント

相手インタフェースアドレス: [192] [168] [1] [20]

相手インタフェースサブネットマスク: [255] [255] [255] [0]

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

13 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット] をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

14 [装置をリセットする] をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。

お知らせ

インターネットダイヤルアップ端末型接続では、DHCP機能がON、NAT機能がON、接続先がデフォルトルートにあらかじめ設定されています。

<コマンド操作>

1 コンフィグレーションモードに移行します。 (P39)

```
#conf
Configuration password:
conf#
```

2 WAN回線の選択 (WANコマンド)

「WAN回線の選択 (ISDN回線)」を設定するため「wan dual」を入力します。

```
conf#wan dual
```

3 認証アカウントの設定 (hostnameコマンド)

「認証アカウント (mucho)」を「hostname」コマンドで入力します。

[add1] は、設定項目を1エントリー目へ登録するを意味します。

```
conf#hostname add 1 default=mucho
```

4 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定 (targetコマンド)

「接続相手のターゲット名称 (PHS、TA)」、「接続相手のISDN番号 (0706111yyyy、035555zzzz)」を「target」コマンドで入力します。コールバックについてもここで「target」コマンドで入力します。

[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=PHS dial=0706111yyyy host=default
key=nc,phs cbmode=server cbmethod=none cbdeny=ok speed=piafs
conf#target add name=TA dial=035555zzzz host=default key=nc,ta
cbmode=server cbmethod=server cbdeny=no
```

5 自局のISDN番号、サブアドレス、複数相手接続の設定 (isdnコマンド)

「自局のISDN番号 (031234xxxx)」、「自局の複数相手接続を使用する」を「isdn」コマンドで入力します。

[rcvcheck=on] は着信時にPPP認証を行うことを意味します。

[-1] は対象のISDN B1回線の指定を意味します。

```
conf#isdn rcvcheck=on multimode=on
conf#isdn -1 dial=031234xxxx
```

4
使
う
ル
ー
タ
機
能
を

6 IPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「IPアドレス (192.168.1.1)」、「サブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。
[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.1.1,255.255.255.0
```

7 IPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

ISDN B1回線インタフェースを使うリモート側の「IPアドレス (192.168.1.10)」、「サブネットマスクパターン (255.255.255.255)」を「interface」コマンドで入力します。
[isdn1] はISDN B1回線インタフェースを意味します。

```
conf#interface isdn1 remote=192.168.1.10,255.255.255.255
```

8 IPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

ISDN B2回線インタフェースを使うリモート側の「IPアドレス (192.168.1.20)」、「サブネットマスクパターン (255.255.255.255)」を「interface」コマンドで入力します。
[isdn2] はISDN B2回線インタフェースを意味します。

```
conf#interface isdn2 remote=192.168.1.20,255.255.255.255
```

9 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

設定する前にいったんスタティックテーブルの全エントリーを削除します。

```
conf#ipripstatic delete all
```

デフォルトルートを「ipripstatic」コマンドで入力します。
[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#ipripstatic add default=192.168.1.2
```

10 | アドレス変換の設定 (natコマンド)

「アドレス変換設定 (NAT^{+(plus)}機能)」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

11 | 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit  
Configuration modified. save ok? (y/n):y  
please reset#  
Do you want to continue (y/n)?:y
```

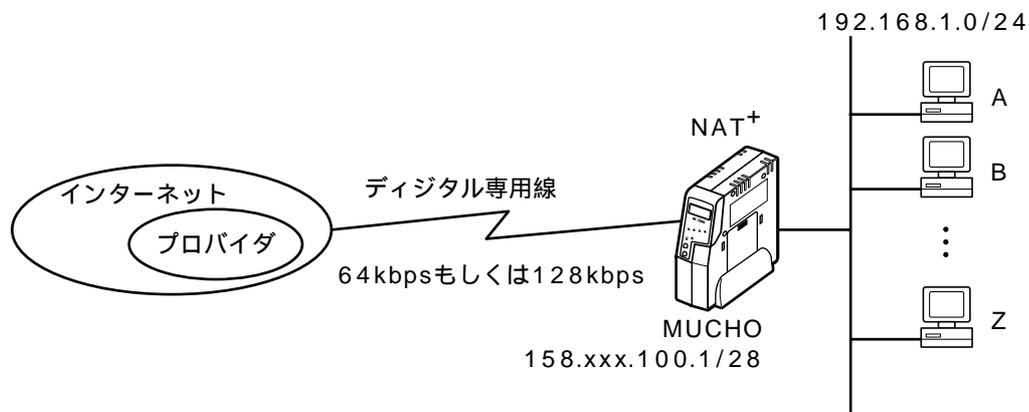
具体的な設定方法

設定G

インターネット専用線接続（OCNエコノミーなど）<NAT on>

専用線を用いてインターネットに接続する例について説明します。この例では、ユーザネットワークアドレスが、158.xxx.100.0/28ですから、端末13台分までのIPアドレスが使用できます。さらにNAT⁺機能を使用することにより、端末13台以上をインターネットに接続することができます。

Webブラウザからの設定では、簡単設定だけで操作が完了します。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 |
|------|------------|------------------------|---------------------|
| 簡単設定 | 専用線接続の登録変更 | 専用線の回線速度 | 128kbps |
| | | 契約IPアドレス | 158.xxx.100.0 |
| | | 契約IPアドレスサブネットマスク | 255.255.255.240 |
| | | LAN側IPアドレス | LAN側は以下のIPアドレスを使用する |
| | | LANインタフェースIPアドレス | 192.168.1.1 |
| | | LANインタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡 | 受けていない |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [専用線接続] をクリックします。

3 専用線の回線速度、契約IPアドレスなどを下記のように入力します。

専用線接続の登録変更

専用線の回線速度: 64kbps 128kbps

契約IPアドレス: 158 . XXX . 100 . 0

契約IPアドレスサブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 240

LAN側でも契約IPアドレスを使用する
 LAN側は以下のIPアドレスを使用する

LANインタフェースIPアドレス: 192 . 168 . 100 . 1

LANインタフェースサブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 0
(未入力時はクラス毎のサブネットマスクを採用します)

接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を
 変えていない
 変えている

連絡を受けた接続先IPアドレス: [] [] [] []

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

4 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

5 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。

4
ルータ機能を使う

お知らせ

手順1のあとに、ユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

<コマンド操作>

- 1 コンフィグレーションモードに移行します。
(☞P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

- 2 WAN回線の選択、回線速度の設定 (wanコマンド)

「WAN回線の選択 (HSD回線)」、 「回線速度の設定 (128kbps)」を設定するため「wan hsd 128」を入力し、[Enter]を押します。

```
conf#wan hsd 128
```

- 3 LANインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

「LANインタフェースのIPアドレス (192.168.1.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan]はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.1.1,255.255.255.0
```

- 4 HSD回線のIPアドレスの設定 (interfaceコマンド)

HSD回線の「接続先IPアドレス (158.xxx.100.1)」を「interface」コマンドで入力します。

[hsd]は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。ISDN B1はダウンさせます。

```
conf#interface isdn1 down  
conf#interface hsd addr=158.xxx.100.1 remote=0.0.0.0
```

5 デフォルトルートの設定 (ipripstaticコマンド)

「デフォルトルートの設定」を「ipripstatic」コマンドで入力します。[dst=0.0.0.0,0.0.0.0] [hsd] は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。

```
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=0.0.0.0,0.0.0.0 nextif=hsd
```

6 NAT⁺機能の設定 (natコマンド)

「NAT⁺機能」を「使用する」ために「nat natp」を入力します。

```
conf#nat natp if=hsd
```

7 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserverコマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために、「dhcpserver off」を入力します。

```
conf# dhcpserver off
```

8 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

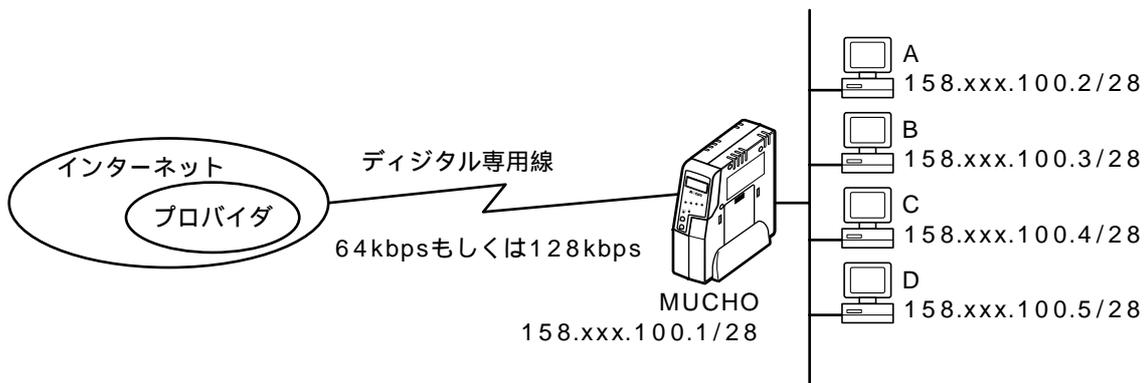
4
ルータ機能
を使う

設定H

インターネット専用線接続（OCNエコノミーなど）<NAT off>

専用線を使用してインターネットに接続する例について説明します。この例では、端末の台数分のグローバルIPアドレスを契約し、NAT+機能は使用しません。

Webブラウザからの設定では、簡単設定だけで操作が完了します。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 |
|------|------------|-------------------------|---------------------|
| 簡単設定 | 専用線接続の登録変更 | 専用線の回線速度 | 128kbps |
| | | 契約IPアドレス | 158.xxx.100.0 |
| | | 契約IPアドレスサブネットマスク | 255.255.255.240 |
| | | LAN側IPアドレス | LAN側でも契約IPアドレスを使用する |
| | | 接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を | 受けていない |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [専用線接続] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。

ユーザIDとパスワードを入力してください。

(☞P37)

3 専用線の回線速度、契約IPアドレスなどを下記のように入力します。

専用線接続の登録変更

専用線の回線速度: 64kbps 128kbps

契約IPアドレス: 158 . XXX . 100 . 0

契約IPアドレスサブネットマスク: 255 . 255 . 255 . 240

LAN側でも契約IPアドレスを使用する
 LAN側または以下のIPアドレスを使用する

LANインタフェースIPアドレス: [] . [] . [] . []

LANインタフェースサブネットマスク: [] . [] . [] . []
(未入力時はクラス毎のサブネットマスクを採用します)

接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を
 受けていない
 受けている

連絡を受けた接続先IPアドレス: [] . [] . [] . []

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

4 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

5 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。

4
使う
ルータ
機能を

< コマンド操作 >

- 1 コンフィグレーションモードに移行します。
(☞P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

- 2 WAN回線の選択、回線速度の設定 (wan コマンド)

「WAN回線の選択 (HSD回線)」、 「回線速度の設定 (128kbps)」を設定するため「wan hsd 128」を入力します。

```
conf#wan hsd 128
```

- 3 LANインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interface コマンド)

「LANインタフェースのIPアドレス (158.xxx.100.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.240)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。LANインタフェースのIPアドレスは「契約IPアドレス (158.xxx.100.1)」から割り付け可能なIPホストアドレスの内の最若番号を割り付けてください。

```
conf#interface lan addr=158.xxx.100.1,255.255.255.240
```

- 4 HSD回線のIPアドレスの設定 (interface コマンド)

HSD回線の「接続先IPアドレス (158.xxx.100.1)」を「interface」コマンドで入力します。

[hsd] は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。ISDN B1はダウンさせます。

```
conf# interface isdn1 down  
conf#interface hsd addr=158.xxx.100.1 remote=0.0.0.0
```

5 デフォルトルートの設定 (ipripstatic コマンド)

「デフォルトルートの設定」を「ipripstatic」コマンドで入力します。[dst=0.0.0.0,0.0.0.0] はデフォルトルート、[hsd] は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。

```
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=0.0.0.0,0.0.0.0 nextif=hsd
```

6 NAT⁺機能の設定 (nat コマンド)

「NAT⁺機能」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

7 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserver コマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

8 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

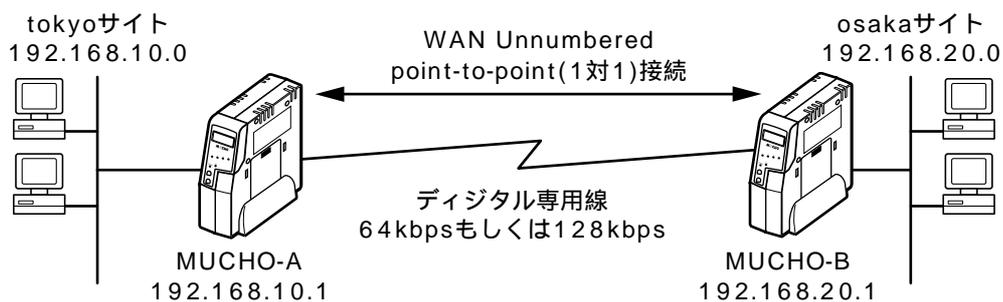
4
ルータ機能を
使う

具体的な設定方法

設定 I

専用線対向接続 (WAN Unnumbered)

2台の本装置を専用線を使って1対1 (point-to-point) に接続する例について説明します。この例では、WAN側にアドレスはふりません。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | 設定例 | |
|-------|--------------|-------------------------|---------------------|---------------|
| 簡単設定 | 専用線接続の登録変更 | 専用線の回線速度 | 128kbps | |
| | | 契約IPアドレス | 192.168.10.0 | |
| | | 契約IPアドレスサブネットマスク | 255.255.255.0 | |
| | | LAN側IPアドレス | LAN側でも契約IPアドレスを使用する | |
| | | 接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を | 受けている | |
| | | 連絡を受けた接続先IPアドレス | 192.168.20.1 | |
| 便利な設定 | IP RIPスタティック | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.1 |
| | | | メトリック | 2 |
| | プリファレンス | 50 | | |

< Webブラウザ操作 >

1 ルータの [簡単設定] をクリックします。

2 [専用線接続] をクリックします。

3 専用線の回線速度を設定します。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

4 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

5 ルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

通信先や中継先を下記のように入力します。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。すでに登録されているエントリがある場合は削除してください。

次ページへ続く

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

LAN側のIPアドレスは契約IPアドレス+1のアドレスが自動的に割り当てられます。それ以外のアドレスにする場合は、「詳細設定」の「インタフェースの設定」でLANのインタフェースIPアドレスを変更してください。

4
使う
ルータ
機能
を

6 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

7 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-Bも同様に設定してください。

お知らせ

専用線接続では、DHCP機能がOFF、NAT^{*}機能がOFF、接続先がデフォルトルートにあらかじめ設定されています。

<コマンド操作>

1 コンフィグレーションモードに移行します。 (P39)

```
#conf
Configuration password:
conf#
```

2 WAN回線の選択、回線速度の設定 (wanコマンド)

「WAN回線の選択 (HSD回線)」、 「回線速度の設定 (128kbps)」を設定するため「wan hsd 128」を入力します。

```
conf#wan hsd 128
```

3 LANインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

「LANインタフェースのIPアドレス (192.168.10.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

4 HSD回線のIPアドレスの設定 (interfaceコマンド)

「HSD回線のIPアドレス (192.168.10.1)」を「interface」コマンドで入力します。

[hsd] は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。

```
conf#interface isdn1 down
conf#interface hsd addr=192.168.10.1 remote=192.168.20.1
```

5 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録)」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.20.1] は、MUCHO-Bへのルーティング情報を意味します。

```
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.20.1
```

4
使う
ルータ
機能を

次ページへ続く

6 NAT⁺機能の設定 (natコマンド)

「NAT⁺機能」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

7 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserverコマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

8 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-Bも同様に設定してください。

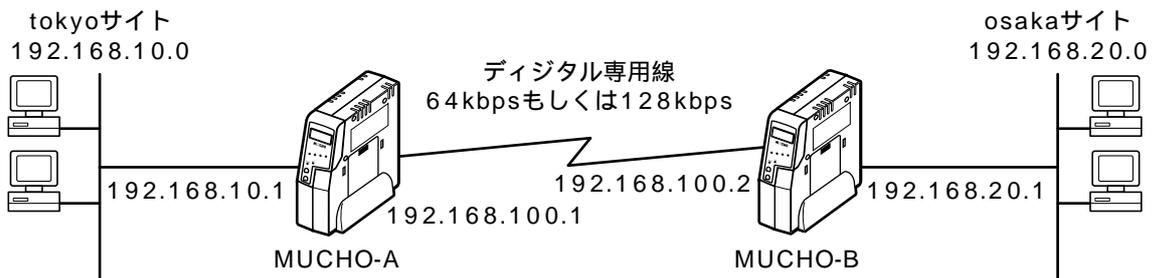
MUCHO-Bの設定例

```
conf#wan hsd (128kbpsを利用する場合は、wan hsd 128 とする)
conf#interface lan addr=192.168.20.1,255.255.255.0
conf#interface hsd addr=192.168.20.1 remote=192.168.10.1
conf#ipripstatic delete all
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.10.1
conf#nat off
conf#dhcpserver off
conf#exit
Configuration modified. save OK? (y/n): y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

設定J

専用線対向接続 (WAN Numbered)

2台の本装置を専用線を使って接続する例について説明します。この例では、WAN側にアドレスをふっています。ここではMUCHO-Aの設定を例にしています。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|-------|--------------|-------------------------|----------|---------------------|
| 簡単設定 | 専用線接続の登録変更 | 専用線の回線速度 | | 128kbps |
| | | 契約IPアドレス | | 192.168.100.0 |
| | | 契約IPアドレスサブネットマスク | | 255.255.255.0 |
| | | LAN側IPアドレス | | LAN側は以下のIPアドレスを使用する |
| | | LANインタフェースIPアドレス | | 192.168.10.1 |
| | | LANインタフェースサブネットマスク | | 255.255.255.0 |
| | | 接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を | | 受けていない |
| 便利な設定 | IP RIPスタティック | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.20.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.100.2 |
| | | | メトリック | 2 |
| | | | プリファレンス | 50 |

4
使う
ルータ機能
を

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [専用線接続] をクリックします。
- 3 専用線の回線速度を設定します。

専用線接続の登録変更

専用線の回線速度: 64kbps 128kbps

契約IPアドレス:

契約IPアドレスサブネットマスク:

LAN側でも契約IPアドレスを使用する

LAN側は以下のIPアドレスを使用する

LANインタフェースIPアドレス:

LANインタフェースサブネットマスク:

(未入力時はクラス毎のサブネットマスクを採用します)

接続先のIPアドレス、サブネットマスクの連絡を

受けていない

受けている

連絡を受けた接続先IPアドレス:

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

- 4 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。
- 5 ルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。
通信先や中継先を下記のように入力します。

IP RIP スタティック

通信先の指定

IPアドレス:

サブネットマスク:

中継先の指定

IPアドレス:

使用する回線が高速インターネット専用線やフレームリレーでない時は登録済みの接続先を指定して下さい。

SDN接続先指定

インタフェースの指定:

メトリック: プリファレンス:

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。ユーザIDとパスワードを入力してください。(P37)

LAN側のIPアドレスは契約IPアドレス + 1のアドレスが自動的に割り当てられます。それ以外のアドレスにする場合は、「詳細設定」の「インタフェースの設定」でLANのインタフェースIPアドレスを変更してください。

6 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット]をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

7 [装置をリセットする]をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-Bも同様に設定してください。

4
使う
ルータ機能を

< コマンド操作 >

- 1 コンフィグレーションモードに移行します。
(☞P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

- 2 WAN回線の選択、回線速度の設定 (wanコマンド)

「WAN回線の選択 (HSD回線)」、 「回線速度の設定 (128kbps)」を設定するため「wan hsd 128」を入力します。

```
conf#wan hsd 128
```

- 3 LANインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

「LANインタフェースのIPアドレス(192.168.10.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

- 4 HSD回線のIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

「HSD回線のIPアドレス (192.168.100.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[hsd] は高速デジタル専用線インタフェースを意味します。

```
conf#interface hsd addr=192.168.100.1,255.255.255.0
```

- 5 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

「ルート情報設定 (スタティックルートの登録)」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.2] は、MUCHO-Bへのルーティング情報を意味します。

```
conf#ipripstatic delete all  
conf#ipripstatic add dst=192.168.20.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.2
```

6 NAT⁺機能の設定 (natコマンド)

「NAT⁺機能」を「使用しない」ために「nat off」を入力します。

```
conf#nat off
```

7 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserverコマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

8 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit  
Configuration modified. save ok? (y/n):y  
please reset#  
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-Bも同様に設定してください。

MUCHO-B装置側コマンド設定例

```
conf#wan hsd 128  
conf#interface lan addr=192.168.20.1,255.255.255.0  
conf#interface hsd addr=192.168.100.2,255.255.255.0  
conf#ipripstatic delete all  
conf#ipripstatic add dst=192.168.10.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.100.1  
conf#nat off  
conf#dhcpserver off  
conf#exit  
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y  
please reset#reset  
Do you want to continue (y/n)?: y
```

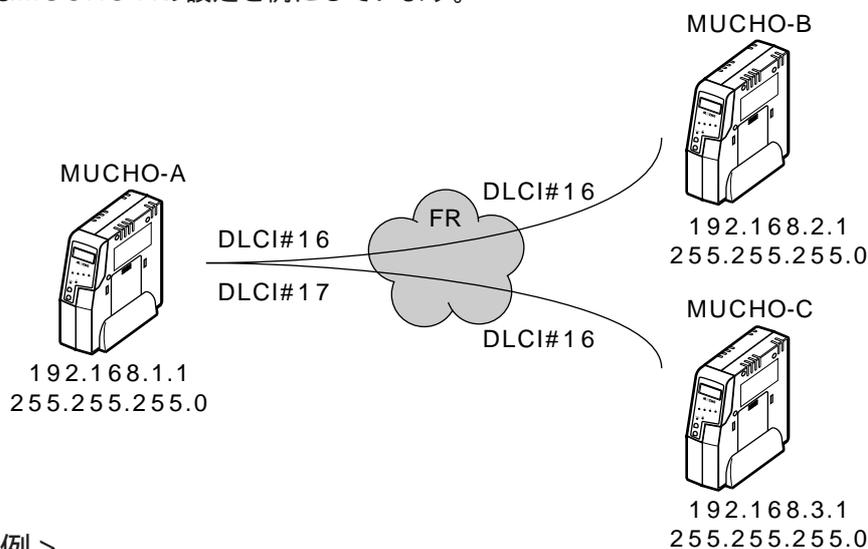
4
ルータ機能を
使う

設定K

フレームリレー接続 (WAN Unnumbered、InverseARP使用、スタティックルート)

3台の本装置をフレームリレーを使って接続する例について説明します。MUCHO-Aと、MUCHO-BおよびMUCHO-Cをポイントツーポイント (Unnumbered) で接続します。

ネットワーク間のルーティング情報はスタティックで運用され、インタフェースアドレスは、InverseARPにより、互いに自動的に割り付けられます。各フレームリレー回線の回線速度は128kbps、CIR値は32kbpsとします。ここではMUCHO-Aの設定を例にしています。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|--------------------|--------------------|---------------|----------|---------------|
| 簡単設定 | フレームリレー接続の登録変更 | 設定1 | DLCI | 16 |
| | | | PIR | 128kbps |
| | | | CIR | 32kbps |
| | | 設定2 | DLCI | 17 |
| | | | PIR | 128kbps |
| | | | CIR | 32kbps |
| LANインタフェースアドレス | | 192.168.1.1 | | |
| LANインタフェースサブネットマスク | | 255.255.255.0 | | |
| 便利な設定 | IP RIPスタティック (設定1) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.2.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.2.1 |
| | | | メトリック | 2 |
| | プリファレンス | | 50 | |
| | IP RIPスタティック (設定2) | 通信先の指定 | IPアドレス | 192.168.3.0 |
| | | | サブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | 中継先の指定 | IPアドレス | 192.168.3.1 |
| メトリック | | | 2 | |
| プリファレンス | 50 | | | |

< Webブラウザ操作 >

1 ルータの [簡単設定] をクリックします。

2 [フレームリレー接続] をクリックします。

3 フレームリレーに関する設定をします。

フレームリレーの回線速度、DLCI、LANインタフェースアドレス、LANインタフェースアドレスサブネットマスクを下記のように入力します。フレームリレーのインタフェースはpoint-to-pointにあらかじめ設定されています。

フレームリレー接続の登録変更

フレームリレーの回線速度: 64kbps 128kbps

LANインタフェースアドレス:

LANインタフェースサブネットマスク:

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---------------------------------|------|----------------------------------|-------|---------------------------------|------|-------------------------------|-------|-------------------------------|-------|-------------------------------|------|-------------------------------|-------|-------------------------------|------|-------------------------------|-------|-------------------------------|
| DLCI: | <input type="text" value="16"/> | PIR: | <input type="text" value="128"/> | kbps: | <input type="text" value="32"/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value="17"/> | PIR: | <input type="text" value="128"/> | kbps: | <input type="text" value="32"/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |
| DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | DLCI: | <input type="text" value=""/> | PIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> | CIR: | <input type="text" value=""/> | kbps: | <input type="text" value=""/> |

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

4 ルータの便利な設定から [IP RIP スタティック] をクリックします。

次ページへ続く

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。

ユーザIDとパスワードを入力してください。

(P37)

4
使う
ルータ
機能を

5 ルート情報を設定します。

[新規登録] をクリックします。

通信先や中継先を下記のように入力します。この例では2件登録しています。

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

6 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット] をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

7 [装置をリセットする] をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。MUCHO-B、MUCHO-Cも同様に設定してください。

<コマンド操作>

1 | コンフィグレーションモードに移行します。 (←P39)

```
#conf  
Configuration password:  
conf#
```

2 | WAN回線の選択、回線速度の設定 (wan コマンド)

「WAN回線の選択 (FR回線)」、 「回線速度の設定 (128kbps)」を設定するため「wan fr 128」を入力します。

```
conf#wan fr 128
```

3 | データ接続識別子 (DLCI) の設定 (dlcic コマンド)

「DLCI (16)」に対して、「転送速度 (128)」、 「CIR (32)」を「dlci」コマンドで入力します。

「DLCI (17)」に対しても同様に設定します。

```
conf#dlci 16 pir=128 cir=32  
conf#dlci 17 pir=128 cir=32
```

4 | LANインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interface コマンド)

「LANインタフェースのIPアドレス (192.168.1.1)」、 「サブネットマスク (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

[lan] はLANインタフェースの指定を意味します。

```
conf#interface lan addr=192.168.1.1,255.255.255.0
```

5 | FR回線インタフェースの設定 (interface コマンド)

「FR回線のインタフェース (point-to-point)」を「interface」コマンドで入力します。

[fr] はフレームリレーインタフェースを意味します。

```
conf#interface fr type=pointtopoint
```

4
使う
ルータ
機能を

次ページへ続く

6 ルーティング情報送受信の設定 (rtcontrol コマンド)

「ルーティング情報送受信 (OFF)」を「rtcontrol」コマンドで入力します。

```
conf#rtcontrol fr send=off recv=off
```

7 ルート情報の設定 (ipripstatic コマンド)

「ルート情報設定」を「ipripstatic」コマンドで入力します。
[add] は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#ipripstatic add dst=192.168.2.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.2.1 metric=2  
conf#ipripstatic add dst=192.168.3.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.3.1 metric=2
```

8 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserver コマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

9 設定を保存します。(P42)

```
conf#exit  
Configuration modified. save ok? (y/n):y  
please reset#  
Do you want to continue (y/n)?:y
```

MUCHO-B、MUCHO-Cも同様に設定してください。

MUCHO-Bの設定例

```
conf#wan fr 128
conf#dlci 16 pir=128 cir=32
conf#interface lan addr=192.168.2.1,255.255.255.0
conf#interface fr type=pointtopoint
conf#rtcontrol fr send=off recv=off
conf#ipripstatic add dst=192.168.1.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.1.1 metric=2
conf#ipripstatic add dst=192.168.3.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.1.1 metric=3
conf# dhcp off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

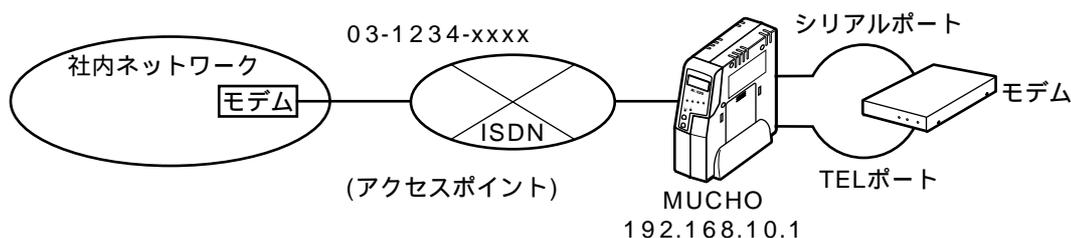
MUCHO-Cの設定例

```
conf#wan fr 128
conf#dlci 16 pir=128 cir=32
conf#interface lan addr=192.168.3.1,255.255.255.0
conf#interface fr type=pointtopoint
conf#rtcontrol fr send=off recv=off
conf#ipripstatic add dst=192.168.1.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.1.1 metric=2
conf#ipripstatic add dst=192.168.2.0,255.255.255.0 nexthop=192.168.1.1 metric=3
conf#dhcp off
conf#exit
Configuration modified. save OK ? (y/n) : y
please reset#reset
Do you want to continue (y/n)?: y
```

設定L

モデム接続

シリアルポートにモデムを接続し、アナログ回線を利用するときの設定について説明します。Webブラウザからの設定では、簡単設定だけで操作が完了します。本装置のシリアルポートとモデムは、モデムに添付されたケーブルまたはシリアルケーブル（ストレート）で接続します。



< 設定データの例 >

| 分類 | 画面名 | 設定項目 | | 設定例 |
|-------------|-----------------|-------------|-------------------|---------------|
| 簡単設定 | モデムを使用した接続の登録変更 | 他の回線との一緒の使用 | | 使用する |
| | | ダイヤル種別 | | トーン |
| | | 回線速度 | | 28800 |
| | | モデム初期化コマンド | 送信 | ATE0V0 |
| | | | 受信 | 0またはOK |
| | | 回線切断コマンド | 送信 | ATH |
| | | | 受信 | 0またはOK |
| | | アクセスポイント | | 03-1234-xxxx |
| | | 認証（接続）ID | | marry |
| 認証（接続）パスワード | | xyz-123 | | |
| 詳細設定 | インタフェースの設定 | LANインタフェース | インタフェースアドレス | 192.168.10.1 |
| | | | インタフェースサブネットマスク | 255.255.255.0 |
| | | シリアルインタフェース | 相手インタフェースアドレス | 0.0.0.0 |
| | | | 相手インタフェースサブネットマスク | 0.0.0.0 |

< Webブラウザ操作 >

- 1 ルータの [簡単設定] をクリックします。
- 2 [モデムを利用した接続] をクリックします。

お知らせ

手順1のあとにユーザIDとパスワードの入力画面が表示されることがあります。

ユーザIDとパスワードを入力してください。

(←P37)

3 接続条件を設定します。

他の回線と一緒に使用するかどうか、ダイヤル種別、回線速度を下記のように入力します。

モデムを利用した接続の登録変更

他の回線(ISDN回線等)と一緒に使用に 使用する、 使用しない

ダイヤル種別: トーン パルス

回線速度: 28800 ▼

4 モデム初期化コマンドを設定します。

モデムを初期化するためのATコマンドを下記のように入力します。

モデム初期化コマンド(モデム認識時、モデムに対して送信します):

1. 送信
受信 又は

2. 送信
受信 又は

3. 送信
受信 又は

4. 送信
受信 又は

5 回線切断コマンドを設定します。

回線を切断するためのATコマンドを下記のように入力します。

回線切断コマンド(回線切断時、“+++”コマンドに続いてモデムに送信します):

1. 送信
受信 又は

6 接続先の設定をします。

プロバイダに接続するとき使用するアクセスポイントの電話番号、認証(接続)ID、認証(接続)パスワードを下記のように入力します。

アクセスポイント:

認証(接続)ID:

認証(接続)パスワード:

設定が終わったら、[送信]をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK]をクリックします。

お知らせ

ATコマンドに関しては、モデムの取扱説明書を参照してください。

4 ルータ機能を
使う

具体的な設定方法

7 ルータの [詳細設定] をクリックします。

8 [インタフェースの設定] をクリックします。

9 LANインタフェースを設定します。

インタフェースの設定

LANインタフェース: インタフェースアドレス: 192 | 168 | 10 | 1
 インタフェースサブネットマスク: 255 | 255 | 255 | 0

10 シリアルインタフェースを設定します。

[ポイントツーポイント] をクリックし、相手インタフェースアドレス、相手インタフェースサブネットマスクを下記のように入力します。

シリアルインタフェース:

ダウン

ブロードキャスト

インタフェースアドレス: [] [] [] []
 インタフェースサブネットマスク: [] [] [] []

ポイントツーポイント

相手インタフェースアドレス: 0 | 0 | 0 | 0
 相手インタフェースサブネットマスク: 0 | 0 | 0 | 0

設定が終わったら、[送信] をクリックします。設定内容が本装置に送信され、確認画面が表示されます。[OK] をクリックします。

11 設定内容を有効にするには、本装置のリセットが必要です。[リセット] をクリックします。

「リセット」画面が表示されます。

12 [装置をリセットする] をクリックします。

本装置が再起動し、設定内容が有効になります。

<コマンド操作>

1 コンフィグレーションモードに移行します。 (P39)

```
#conf
Configuration password:
conf#
```

2 モデムの回線速度の選択 (asyncコマンド)

「モデムの回線速度」を設定するため「async speed=28800」を入力します。

```
conf#async speed=28800
```

3 モデムの初期設定 (modemコマンド)

「ダイヤル種別」を、「modem」コマンドで入力します。

```
conf#modem dial=tone
```

また、モデムの初期化、切断に関するATコマンドを「modem」コマンドで登録します。

なお、装置導入時には、

初期化コマンド：送信 (ATE0V0) 受信 (0またはOK)

切断コマンド：送信 (ATH) 受信 (0またはOK)

が登録されています。

4 認証アカウント、認証パスワードの設定 (hostnameコマンド)

「認証アカウント(marry)」、「認証パスワード(password=xyz-123)」を「hostname」コマンドで入力します。

[add 1]は、設定項目を1エントリー目へ登録することを意味します。

この入力により「PPP認証 (使用する)」も登録されます。

```
conf#hostname add 1 default=marry password=xyz-123
```

5 接続相手のターゲット名称、ISDN番号の設定 (targetコマンド・targetinterfaceコマンド)

「ターゲット名称 (async-easysetting)」、「ISDN番号 (031234xxxx)」を「target」コマンドで入力します。

[add]は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#target add name=async-easysetting dial=031234xxxx
conf#targetinterface add name=async-easysetting interface=async
```

次ページへ続く

4
ルータ機能を
使う

6 LANのIPアドレス、サブネットマスクパターンの設定 (interfaceコマンド)

「LANのIPアドレス (192.168.10.1)」、 「サブネットマスクパターン (255.255.255.0)」を「interface」コマンドで入力します。

```
conf#interface lan addr=192.168.10.1,255.255.255.0
```

7 モデムインタフェースのIPアドレス、サブネットマスクの設定 (interfaceコマンド)

「モデム側のIPアドレス」、 「サブネットマスク」を「interface」コマンドで入力します。

```
conf#interface async remote=0.0.0.0
```

8 ルート情報の設定 (ipripstaticコマンド)

設定する前にいったんスタティックテーブルの全エントリーを削除します。

```
conf#ipripstatic delete all
```

「ルート情報設定 (default=async-easysetting)」を「ipripstatic」コマンドで入力します。

[add]は、設定項目を登録することを意味します。

```
conf#ipripstatic add default=async-easysetting
```

9 アドレス変換の設定 (natpコマンド)

「アドレス変換設定 (NAT^{+(plus)}機能)」を「使用する」ために「natp」を入力します。

```
conf#nat natp if=async
```

10 DHCPサーバ機能の設定 (dhcpserverコマンド)

「DHCPサーバ機能」を「使用しない」ために「dhcpserver off」を入力します。

```
conf#dhcpserver off
```

11 設定を保存します。(←P42)

```
conf#exit
Configuration modified. save ok? (y/n):y
please reset#
Do you want to continue (y/n)?:y
```